

*"ChatGPT" Project team for considering utilization.*

# ChatGPT等生成AI活用検討プロジェクトチーム

## 第2回会議

I 今後の進め方について

II ChatGPT実践後の感想

2023年6月2日 兵庫県

# I 今後の進め方について



## (1) 今後の進め方について

# PTの役割

## 庁内におけるChatGPT等生成AIの活用をリードする人材として

### ■ ChatGPTの活用に習熟

- ・ 自身の業務に積極的に活用し、有効な活用策や課題を発見
- ・ 実務で使えるプロンプトを研究し、ChatGPTの使い方を習得
- ・ 部外の知り合いや同僚に使い方を伝授する等、業務での活用をリード

### ■ ChatGPTの活用策とガイドラインを検討

- ・ R6年度政策提案の検討（アイデア出し）
- ・ 新たなツールの検証、一部業務での実証
- ・ ガイドラインの検討

## (1) 今後の進め方について

### (1) 会議

#### ■ 研修会

[目標]

庁内におけるChatGPT等生成AIの活用をリードする人材の育成

[講義内容]

PTアドバイザー 大植 択真 (株)イクサウイザ―ズ 取締役 による講義・実習

- ・ ChatGPT等生成AIの概要、回答精度をあげるコツ等の講義
- ・ プロンプトエンジニアリングの実習として、多様なプロンプトを試行

#### ■ アイデアソン

[内容]

- ・ 神戸大学の学生・教職員と共にChatGPTの活用策を考えるワークショップ
- ・ メインコーディネーターはPTアドバイザー 村尾 元 神戸大学教授

## (1) 今後の進め方について

### (2) ChatGPTの活用実証

#### ① R6年度政策提案

- ChatGPTを活用したR6年度新規施策のアイデアを検討
- 取りまとめたアイデアは企画部の政策提案にビルトイン

➡ 6月23日(金)までに一人一つ以上の政策を検討してください。

- ChatGPTを活用した事業（チャットボットによる申請処理等）
- 「分野」「項目名」「説明内容」の3点でパワポ1枚程度で提出

※ 実現可能性は深く考えなくても構いません。数を出すこと重視です。

※ 様式、作成要領は別途提供させていただきます。

各部の政策提案でも、アイデア出しにChatGPTを活用いただきたいと思います。

## (1) 今後の進め方について

### (2) ChatGPTの活用実証（続き）

#### ② 庁内利用環境整備

- ・ ChatGPTのAPIを用いた外部サービスの比較検討

#### ③ 業務効率化プロンプトの開発

- ・ 自身の業務で積極的に活用する中で使えるプロンプトを開発
- ・ 有効なプロンプトを集約し、庁内利用環境にプリセット

#### ④ 特定分野での実証

- (例)
- ・ 既存のチャットボットの高度化
  - ・ 県議会「会議録システム」への搭載 等

## (1) 今後の進め方について

### (3) ガイドラインの検討・作成

#### ■ 第1段階（6月～）

様々な団体が公表している方針や県セキュリティ対策指針等をもとに作成した【ガイドライン（たたき台）】に沿って実務での活用、実証を実施

#### ■ 第2段階（7～8月）

実務での活用、実証の中で発見された有効な活用策や注意点を整理し、逐次【ガイドライン（たたき台）】に反映

#### ■ 第3段階（9～10月）

最新の情報、国方針等を踏まえ、兵庫県のChatGPT等生成AIの利用に関する【ガイドライン 第1.0版】を作成・公表

**その後は随時更新**

## (1) 今後の進め方について

### PTのスケジュール

時期	項目	概要
6月	第2回PT (6/2(金))	・活用中の感想 ・今後の進め方を共有
	研修会 (6/5(月))	・大植氏による研修 ・プロンプト実習
7月	村尾先生with神大生アイデアソン (中旬)	・生成AIの面白い活かし方 ・これまでにない課題解決のアイデア
8月	第3回PT (上旬)	・経過報告 (実証事業の状況) ・情報共有 (使えるプロンプト)
9月	第4回PT (上旬)	・ガイドライン案協議 (最終は事務局が取りまとめ)



業務活用

## Ⅱ ChatGPT実践後の感想

